

# 今年も『秋の味覚』庄内柿を

よろしくお願い致します！



今年も庄内柿のお便りを皆様にお届けする季節になりました。

今日あたり、庄内は収穫を目前にした田んぼの稲穂が台風風の風に大きく揺れています。

8月末の台風15号に続き、今度は台風17号と直撃はないものの、その影響による東風は相当に激しく田んぼや柿畑を揺らし続けています。庄内柿も東向きの斜面を中心に風で葉がちぎれ、枝や実がむき出しにされたところも見られます。

今年の柿は昨年続き、生理落下が少ない分実の付きがよく、夏の高温が良いほうに影響してか、8月中旬までは玉伸び（実の成長）が良く豊作が期待できる生育状況でした。しかし、ここに来て風の影響がどの程度出るのか予測が難しいようです。西向きや南向きの斜面では比較的生育のよい状態が続いていますので、何とか平年作は確保できるのではないかと期待しているところです。自然相手の農業ですから致し方ないこととはいえ、最近の気象変化の激しさは異常に思えます。先人たちが山の神、風の神に平穏を祈った気持ちが少しは解るように思います。

雪の中での剪定から始まり、6月初旬からの摘蕾や摘果作業、夏季剪定、防除作業に続き、3回目の草刈りを終えた圃場は鮮やかな芝生状態の草の中に柿の木が大きく枝を張っています。今のところ風による被害のほかに病虫害も特に目立ったものはありません。落葉病を出さない前提に、化学肥料を一切使用せず、防除も殺菌・殺虫併せて年8成分まで（慣行栽培の半分以下）にし、土づくりで柿の樹勢を維持する栽培を実行してから落葉病被害はほとんど出ない状態で安定しています。今年は生育途中での殺虫散布を1回だけ省き、春の発芽前に実施したことがカイガラムシや葉巻虫などの発生をある程度抑えているようです。

今後の作業は収穫前の草刈り、そして10月中旬以降の収穫、脱渋、出荷となります。9月に入ってから涼しい日が続いていますので収穫が少し早まるかもしれません。今後も作業に気をつけながら、美味しい柿が出来るよう頑張っていきたいと思っておりますので、今年も『庄内柿』をよろしくお願いたします。

2015年9月24日

農事組合法人 庄内協同ファーム

庄内柿 部会長 志藤 正一